

平成29年度 第1回向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会  
要点録

○開催日時 平成29年8月9日（水）午後3時30分開会～午後5時閉会

○開催場所 向日市福祉会館 大会議室

○出席者 清家委員、植田委員、出射委員、高桑委員、宮川委員、川本委員、  
乾委員、上田委員、今川委員、水上委員  
(以上10名)

○欠席者 堀委員

○傍聴者 1名

○議事 (1) 委員長・副委員長の選任について  
(2) 介護保険制度改正の概要について  
(3) 平成28年度に実施したアンケート調査結果について  
(4) 今後の計画策定委員会等開催スケジュール（案）について

○資料 資料1：介護保険制度改正の概要について

資料2：平成28年度に実施したアンケート調査結果について

資料3：今後の計画策定委員会等開催スケジュール（案）について

○内容

議事① 委員長及び副委員長の選任

(要点)

○任期満了に伴う委員長及び副委員長の選任を行い、委員長には清家委員が、副委員長には植田委員がそれぞれ選任された。

議事② 介護保険制度の概要について

(要点)

○向日市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の性格、法的な位置づけ、市の計画体系、計画策定スケジュールを説明した。

○団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指すこととし、地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法の一部を改正する法律のポイントとして「地域包括ケアシステムの深化・推進」「介護保険制度の持続可能性の確保」があげられていることを説明した。

○「地域包括ケアシステムの深化・推進」として、保険者機能の強化等による自立支援・重度化防止に向けた取組の推進、新たな介護保険施設の創設、地域共生社会の実現に向けた取組の推進、「介護保険制度の持続可能性の確保」として、現役世代並

みの所得のある者の利用者負担割合の見直し、介護納付金における総報酬割の導入について説明した。

- 第7期介護保険事業計画の策定プロセスと支援ツールとして「見える化システム」による現状分析機能、将来推計機能を紹介した。
  - 基本指針（案）について、医療計画等との整合性の確保、介護を行う家族への支援や虐待防止対策の推進、介護離職ゼロに向けた介護をしながら仕事を続けることができるようなサービス基盤の整備について説明した。
- 本議題について、特に意見はなかった。

### 議事③ 平成28年度に実施したアンケート調査結果について

#### （要点）

- 平成28年度に実施した高齢者等実態調査の概要について説明した。
- 調査は高齢者一般調査・在宅者調査・施設サービス利用者調査・介護支援専門員調査からなり、地域包括支援センター、健康づくり・介護予防、医療と介護の連携、認知症高齢者、主な家族介護者の介護離職の状況についての考察を説明した。

#### （主な意見・質疑）

- 市内訪問看護事業所数について質問があり、介護保険サービス事業所・介護予防サービス事業所がそれぞれ4事業所であることを説明した。
- ケアマネジャーと主治医などの連携強化に関する取組について質問があり、乙訓圏域で共通のFAX照会様式を活用していることを説明した。
- 市内企業の介護休暇制度の導入状況について質問があり、市では把握していないことを説明した。
- 仕事と介護を両立できる職場環境整備の実施状況について質問があり、現在実施している在宅介護実態調査の集計結果を基に今後の取組について検討したいと説明した。
- 健康づくり・介護予防を地域でどのように進めていくべきかを検討する上では貴重なデータであること、主治医の理解・協力が得られないことについてその背景を探ってみてもいいのではないかということ、受診や継続的な対応につながっていない認知症高齢者がどれくらいおられるのかを把握することは初期集中支援チームが今後関わっていくにあたっての重要なポイントとなり得るので参考にしてほしいとの意見があった。
- 認知症高齢者への対応に係る方向性について質問があり、今後の検討課題としたいと説明した。

議事④ 今後の計画策定委員会等開催スケジュール（案）について

（要点）

- 今後の流れとして、在宅介護実態調査結果の報告、介護サービスの達成状況、計画素案の提示、パブリックコメントを経て、計画の最終案、議会報告、条例改正に至ることを説明した。

（主な意見）

- 前回のパブリックコメントについて意見をいただけなかったことに対する検証が必要であること、ホームページの更新が必要であること、市民に対して総合事業に関する周知が必要であることの見解があった。